

第1学年*組 国語科学習指導案			
平成**年*月*日(*) 第*校時 1-*教室		指導者 後藤 秀文	
育成する国語の能力	書き手の意図を論理的にとらえる力を育てる。		
単元名	グループ活動による模範解答作成を通して筆者の意図をとらえよう。		
単元目標	<p>○作品の描写に論拠を求め書き手の意図をとらえようとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすることができる。(読む能力)</p> <p>○文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにできる。(知識・理解)〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕のイの(イ)</p>		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	作品を読んで、表現に込められている書き手の意図を論理的にとらえ、意見交流をおして自らの考えを深めようとしている。	作品全体の構成や展開を的確にとらえ、文章表現や、「富士」の描写の相違、主人公の心情の変化について理解している。	作品内の段落構成、及び、語句の意味、用法を的確に理解している。
取り上げる言語活動	作品内の構成や展開を根拠に書き手の意図について論理的に考え、工夫して話し合う。		
題材(教材)	太宰 治「富嶽百景」数研出版『改訂版高等学校国語総合』		
単元(教材)について	<p>(1)生徒観：生徒は情景描写や心理描写について自分の考えをもったり、個別の発問について思考し考えをまとめたりすることができる。ただ、それらの考えを書き手の意図を探るための手がかりとすることに慣れておらず、表面的な解釈で終わってしまう傾向が見られる。</p> <p>(2)教材観：太宰治「富嶽百景」は、人間不信に陥っていた主人公の「私」が人々の人情に触れながら、文学への志と結婚生活への決意をもって自らの人生を再生させていく姿を描いた作品である。作品内で「富士」は多様な描写で幾度も語られるが、これは「私」の心情の変化を反映するものでもあるため、書き手の意図を探らせるのに適した教材であると考えられる。</p> <p>(3)指導観：芥川龍之介「羅生門」を扱った際、情景描写の効果やねらいを生徒同士で工夫して話し合わせる練習を重ねてきた。これを踏まえ、本単元では作品全体を通して書き手の思考の流れを追わせることで書き手の意図を論理的にとらえることの意義を発見させ、小説の持つ奥深さを味わわせたい。</p>		
指導計画	主な学習活動		主な評価
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>作者や代表作品について予備知識を身につける。</li> <li>「富嶽百景」を通読して初発の感想を書く。</li> <li>語句の意味調べをする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>作者について国語便覧を用いて知識を得ようとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>表現の特色などで疑問に感じたことを明確化している。(読む能力)</li> <li>語句の意味や用法を理解している。(知識・理解)</li> </ul>
第2時 ～ 第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来事と主人公の関心事について読み取り、段落構成を確認する。</li> <li>グループに分かれ、意見交換する。</li> </ul> <p>(第2時) 第一段落第一節、第二～第三節 (第3時) 第四節、第二段落第一～第二節 (第4時) 第二段落後半～第三段落 (第5時) 第四段落、第五段落</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>展開や構成を意識し、主人公の関心事を的確に理解している。(読む能力)</li> <li>グループの中で意見交換して自らの考えを深めるなど主体的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度)</li> </ul>
第6時 ～ 第9時	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品全体を通して、表現や描写、心情の変化についてまとめ、作者の意図を考察する。</li> <li>各時間ともグループワークを通して協働して模範解答を作成することで考えを深</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>表現や描写、主人公の心情の変化を的確に理解し、作者の意図を自分なりに考えようとしている。(読む能力)</li> <li>問題解決に向けて積極的に意見交換することで、より客観的で妥当な解答作成に</li> </ul>

	<p>める。 (第6時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主人公以外の登場人物についてまとめ、「甲府の娘」「おかみさん」「娘さん」「若い知的の娘さん」それぞれの役割を考察する。</li> </ul> <p>(第7～8時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「富士」の描かれ方と「富士」に対する印象の変化をまとめ、「御坂峠から見た富士」「見合いの席で見た富士」「甲府の安宿から見た富士」をもとに主人公の心情の変化を考察する。</li> </ul> <p>(第9時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私」の心情の変化をまとめる。「富士には月見草がよく似合う」「酸漿に似ていた」とは各々どういうことか考察する。</li> </ul>	<p>取り組んでいる。(関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物に着目し、それぞれの人となりや描写に即して読み取ろうとしている。(読む能力)</li> <li>「富士」の描写や印象の変化を的確に理解し、書き手の意図を論理的に考察している。(読む能力)</li> <li>主人公の心情を読み取り、書き手の意図を論理的に理解しようとしている。(関心・意欲・態度)</li> </ul>
第10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>この単元で新たに気付いたこと、この作品についての自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この作品で新たに気づいたことを分かり易くまとめている。(関心・意欲・態度)</li> </ul>
本 時 案 (第8時)		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>「御坂峠の茶屋から見た富士」について、主人公の「私」が「好かなかった」「軽蔑さえした」「恥ずかしくてならなかった」と述べる理由を論理的にとらえ、解答することができる。(読む能力)</li> <li>グループでの話し合いを通して、書き手の、「俗」への否定的な考えを示そうとする意図にせまろうとすることができる。(関心・意欲・態度)</li> </ul>	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
<導入5分>		
1 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの内容を踏まえ、本文の描写に基づいて説明することを意識づける。</li> </ul>	
「富士」の見え方から主人公の心情を理解し、書き手の意図をとらえること。		
<展開45分>		
2 提示された問いについて個別に解答する。 問①「御坂峠の茶屋から見た富士」について主人公の「私」はどう感じているか。 問②なぜ、そう感じているのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>問①について生徒全員が概ね解答してから②を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の描写に注目しながら問いに解答しようとしている。(関心・意欲・態度) &lt;シートの分析&gt;</li> </ul>
3 (1) 4～6名のグループを作って互いの意見を交換して、より論理的妥当性を持つ解答を作成する。 (2) 指名されたグループの代表者は作成した解答案を板書する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの解答案を比較させ、差異があればいずれの解答がより適切か、話し合わせる。グループ内で最善の解答案を作成するよう指示する。</li> <li>異なる解答案をクラス内で共有したうえで解答のポイントや記述方法の是非を指摘し、クラスの模範解答を作成する。</li> <li>問①を話し合ったあとで問②について同様に(1)(2)の順で話し合わせ、クラスの模範解答を作成する。</li> <li>&lt;想定される解答案②&gt;「あまりにおあつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの解答案の相違点を比較することで、論拠の差異や記述の妥当性を吟味している。(読む能力) &lt;発言の観察&gt; &lt;シートの分析&gt;</li> </ul>

<p>4 グループのまま、提示された問題解決に向けて話し合う。</p> <p>問③「私」は後半になって「富士」に感謝するまでになっている。当初の「風呂屋のペンキ画」のような富士を否定的に感じているのだろうか。</p>	<p>らえむきの富士山の景色で、まるで風呂屋のペンキ画や芝居の書き割りのように感じられ、到底素晴らしいとは感じられなかったから。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・＜富士が「俗」な存在であり、「私」がこれに対峙できる存在であろうとしている＞ことに言及できることが理想だが、ここではまず、「風呂屋のペンキ画」などが「俗」を意味しており、これに否定的な感情を抱いていたことに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話合いを通して、「俗」への否定的な考えを示そうとする書き手の意図にせまろうとすることができる。</li> </ul> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>＜発言の観察＞</p> <p>＜シートの分析＞</p>
<p>&lt;まとめ5分&gt;</p> <p>5 本時のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の描写に注目することによって、登場人物の心情を理解できたり、筆者の意図にせまれたりすることを確認し、次時は後半部の「富士」の見え方を検討していくことを提示する。</li> </ul>	